

2020スーパーGT 最終戦富士で RAYBRIG NSX-GT が逆転優勝 シリーズチャンピオンを獲得

— スタンレー電気株式会社

スタンレー電気株式会社(本社 東京都目黒区中目黒 2-9-13、代表取締役社長:北野隆典)が自動車用品ブランド「RAYBRIG」を通じてスポンサードするチームクニミツが、11月28日～29日に富士スピードウェイ(静岡県)で開催されたSUPER GTシリーズ最終戦(第8戦)で優勝を果たしました。

2020年シーズンのチームクニミツは、高橋国光総監督のもと、山本尚貴・牧野任祐の両選手が参戦し、第3戦の鈴鹿で2位、第7戦のツインリンクもてぎで3位と、7戦中6戦でポイントを獲得する安定した成績で最終戦を迎えました。

11月29日に開催された決勝は7番手からのスタートとなりましたが、RAYBRIG NSX-GTは徐々に順位を上げ、最終ラップでトップの Keeper TOM'S GR Supra をとらえ劇的な逆転優勝を果たしました。この勝利でドライバー、チームともにシリーズチャンピオンを獲得しました。



RAYBRIG NSX-GT



右から山本尚貴選手、牧野任祐選手

スタンレー電気株式会社 代表取締役社長 北野隆典より

RAYBRIGは1995年に高橋国光氏がガル・マン24時間レースで優勝を飾った時からチームクニミツのサポートをスタートし、1996年の全日本GT選手権にRAYBRIG NSXが初登場しました。以来、四半世紀にわたりチームを応援して来ましたので、この度の最終戦の逆転優勝とシリーズチャンピオンの獲得をととても嬉しく思います。

このダブルタイトル獲得は高橋総監督、小島監督、そして山本・牧野両選手、そのほかチームの皆様の努力の結晶です。心からお祝いを申し上げるとともに、HRD Sakura様、本田技研工業様をはじめとする関係者の皆様、そして熱烈な応援を続けてくださったファンの皆様に感謝申し上げます。

既に発表いたしました通り、RAYBRIGブランドは2021年3月で終了となります。RAYBRIG NSXとしてのラストランを有終の美で飾っていただいたことにひとしおの感慨を抱くとともに、これまでの皆様方のご支援に改めて御礼申し上げます。